



2月号

# ひだまり



今月のエッセー

## 目に見えない利他

三年前の二月、私はアイスランドという北欧の国を訪れました。島全体に氷河と火山が混在する自然豊かな場所である一方、自国軍を保有しない世界で一番平和な国としても知られています。

そんなアイスランドですが、私が首都レイキャヴィークを観光していた時、ある光景を目にしました。町中を歩いていると、門扉に多くの手袋が刺さっていたのです。門には「片っぱの手袋達」と書かれており、そこはまるで手袋の迷子センター。寒い場所であったにもかかわらず、どこか温かいぬくもりを感じました。

手袋を片方無くしてしまうと、もう片方の手袋だけを使うことは出来ません。それ

## 編集後記



立春を過ぎ、暦の上ではもう春です。しかし、朝方の肌を刺すような冷え込みや夕暮れ時に吹き付ける寒風からは、まだまだ冬の面影を色濃く感じます。

先だっても都内では雪がちらつき、刺つたばかりの頭で外出するのが躊躇われるほどの寒さでした。昔から「健康のためには頭寒足熱」と言いますが、行き過ぎた寒さは万病の元です。

特に今年は記録的なインフルエンザの流行もあって、体調管理の必要性が高まっています。雪の中を歩きながら、「ウイルスに負けないように、頭の先までしっかりと防寒しなければ」と思わされた今日この頃。「春よ、早く来い」と願わずにはいられません。

◆山内弾正

発行 曹洞宗総合研究センター教化研修部門

〒一〇五・八五四四

東京都港区芝二・五・二曹洞宗宗務庁内

☎〇三・三四五四・六八四四

を知ってか、アイスランドでは落とし物の手袋をこの門に置いていくのが習わしになっていきます。他人の手袋を届けたところで相手に感謝されるわけではありません。しかし、届けた人は見返りを求めているのではなく、ただ困っている人を助けようという思いから、この場所に手袋を置いていくのです。

アイスランドが世界一平和な国である理由。それは単に軍隊を保有しないからではないと思います。この門のように、困っている人を想像する力に溢れている日常の光景にこそ、平和が象徴的に現われているのです。

◆秦慧洲

三年間、  
ありがとうございました！

兵庫県丹波市出身

ほんだ しんだい

本田 真大 さん



Q1. 休日はどんなことをしていますか？

バイクでツーリングに行っています。

Q2. ルンビニ合掌苑で一番思い出に残っていることは？

遅刻しそうになったこと・・・

Q3. 研修部を卒業した後は？

まだ決まっていません。

最近までこのルンビニ合掌苑にお邪魔する日々がずっと続くような心持ちでいたのですが、時の流れは本当にあつという間ですね。  
一人っ子で祖父母もいない家庭に生まれた私にとって、みなさんといただく食事は正直なところ少し緊張するひと時でした。しかしそれゆえに、お話いただいたみなさんの声とお姿は今でも鮮明に思い出すことが出来ます。  
バイクが趣味の私に、バイクに乗っていた頃のことを話してくださいましたこと。戦争についての思いを語っていただいたこと。恋についてお話してくださいましたこと。たくさん思い出は私の大切な宝物です。  
四月からの活動の場はまだ決めかねているのですが、みなさんの言葉を胸にこれからも精進してまいります。ありがとうございます。

特別企画

ひだまり三年度生

岩手県花巻市出身

ふかざわ りょうどう

深澤 亮道 さん



Q1. 休日はどんなことをしていますか？

最近では、茶道と書道のお稽古に行っています。

Q2. ルンビニ合掌苑で一番思い出に残っていることは？

「深澤さん」と名前を覚えてもらったこと。

Q3. 研修部を卒業した後は？

研究部に進級します。

三年前、みなさんの前に初めて立った時、私はどんな顔をしていたのだろうかと想像します。振り返ってみると最初の頃は、お坊さんとして訪問するのだから、仏教の話や元気をみなさんに与えなければいけない！と、気負っていました。人前で話すことが不慣れなことも相まって、もしかしたら引きつった顔をしていたのではないのでしょうか。しかし、優しく耳を傾けて話を聞いてくれていた姿や、一緒にレクリエーションを楽しんでくれていた姿、一生懸命お経を誦んでいる姿。そして何より毎回訪問するたびに温かく迎えてくれる姿から、逆に元気づけられている私がいまいました。そのおかげで、今では私も笑顔でみなさんの前に立っているのではないかと思います。  
みなさんと同じ時間を共有できたご縁に大変感謝しています。本当に三年間ありがとうございました。